

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年3月14日

事業所名 児童発達支援センターひかり園 保護者等数（児童数）48名 回収数 42名 割合 87.5%

| | チェック項目 | はい | どちら | | わか らない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|--|----|------------|---------|-----------|--|---|
| | | | ともい えない | いい え | | | |
| 環境・体制整備 | ① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 35 | 7 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・確保されている ・十分なスペースだと思う ・広いグラウンドがほしい ・立地条件を考えると、これ以上は難しいと思う | <ul style="list-style-type: none"> ・教室や遊戯室の広さは、制度上の基準を満たしていますが、引き続き、園児が安心して安全に過ごせる環境づくりに努めます。 ・広い園庭とは言えませんし、死角も多いので、引き続き、安全面に留意しつつ、活動に応じて園庭の使い方を工夫していきます。 |
| | ② 職員の配置数や専門性は適切であるか | 41 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・人数は適切だと思う ・よく見てもらっていると思う | <ul style="list-style-type: none"> ・制度上の職員の配置基準は満たしています。ただし、活動内容によって、より安全面への配慮が必要な場合に、適切に状況判断や支援を実行できるよう、引き続き、職員の技量の向上に努めます。 |
| | ③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 37 | 5 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーではない ・玄関は段差がある。身体障害がある場合は負担が大きい ・トイレの種類が多い ・バリアフリーではないが、運動機能の向上には有効と思う | <ul style="list-style-type: none"> ・現状は、多様な障害に対応できる設備（スロープ、手すりの設置等）にはなっていません。検討が必要と心得ています。 ・トイレは、お子さんの発達のステップに応じて切り替えます |
| | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 38 | 4 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・心地よく過ごせる環境になっていると思う ・教室もトイレもきれいに整理されている ・こまめに掃除をしているという印象 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス等の感染症防止のためにも、引き続き、設備や備品等の衛生管理に努めます ・引き続き、定期的に安全点検を実施し、園児がけがをせず安全に過ごせるように整備します。 |
| 適切な支援の提供 | ⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか | 41 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・納得できるものになっている ・客観的な視点で書かれてあるので気づきがある | <ul style="list-style-type: none"> ・新年度に調査票による園児の生活の実態把握をしています。また、園生活における姿については行動観察によるアセスメントを実施し、支援計画を立てています。 |
| | ⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支 | 36 | 1 | 0 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施されている | <ul style="list-style-type: none"> ・ひかり園では、児童発達支援ガ |

| | | | | | | | |
|----------|---|----|---|---|----|---|---|
| | 援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | | | | | ・児童発達支援ガイドラインが | イドラインを踏まえて、園児一人ひとりの人格を尊重し、発達特性や発達の状況を考慮しつつ、幼児期らしい生活づくりと楽しい遊びの経験の広がりをめざしています。また、安定した家庭生活が送れるよう、家族との連携および相 |
| ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 41 | 1 | 0 | 0 | ・いろいろなことにチャレンジさせてもらい、成長していると思う ・実施されていると思う ・子どものできることが増えた | 談対応、必要に応じた地域資源に関する情報提供を行なっています。ただし、児童発達支援ガイドラインそのものの詳細についての説明はできていません。今後、情報提供について検討します ・個々の支援ニーズの把握を行なうとともに、取り組みの経過を大切にし、必要に応じて見直しを行なっています |
| ⑧ | 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか | 39 | 1 | 0 | 2 | ・行われている ・楽しめるプログラムになっていると思う | ・活動内容については、園児の興味関心や発達課題に配慮して実施しています。 ・コロナ禍において、クッキングや宿泊保育など、実施できない活動もありましたが、地域の環境を生かしつつ、できるだけ園児の生活が豊かで楽しいものになるようにと考えています。 |
| ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 13 | 9 | 8 | 12 | ・まったくない ・小学校との交流があった ・コロナ禍でも、近隣の小学校との交流があると知った | ・コロナ禍ではありましたが、ここ数年恒例となっている隣接する小学校との秋の交流行事は実施致しました。この行事では、近隣の保育所や幼稚園の子どもさんとの触れ合いもあります。今年度は3月にも予定されていましたが、感染拡大のため中止となりました。 |
| 保護者への説明等 | ⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 40 | 1 | 1 | 0 | ・入園説明会の際にいていねいな説明を受けた ・説明を聞いたが難しかった | ・毎年、入園説明会で契約をしていただく際に説明しています ・十分にご理解いただけるよう、内容を見直していきます。 |
| | ⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 41 | 0 | 0 | 1 | ・家庭訪問や懇談などでいていねいに説明してもらった ・児童発達支援ガイドラインがわからない | ・家庭訪問や懇談の際に説明しています。限られた時間なので、十分にやりとりができないこともありますが、ガイドラインを踏まえていねいに説明していきたいと思っています。 |
| | ⑫ 保護者に対して家族支援プログラ | 30 | 6 | 2 | 4 | ・行われている | ・今年度は、発達に関する通信の |

| | | | | | | | |
|---|---|----|----|---|---|---|---|
| | ム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで開催できなかった。あつたらよいと思う ・回数は多くはないが、機会があった | <p>発行とクラス懇談等のおしゃべり会の開催にとどまっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人内の他施設の講演会については情報提供をしましたが、参加者はわずかでした。来年度は、当園での講演会も開催していきたいと考えています |
| ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について 共通理解ができているか | 40 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・週末のおたより等で教えてもらっている ・連絡帳や定期的なおたよりなどで、共通理解できていると思う | <ul style="list-style-type: none"> ・ひかり園の療育形態上、職員と保護者の方が直接お話をする機会は少ないと感じています。したがって、現在のようなかたち(園だより、クラスだより、年長だより、週末の個別おたより)で、園生活の様子をできるだけ詳細にお伝えすることで、保護者とその成長を喜び合うとともに、発達理解を共有していきたいと考えています。 |
| ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 40 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・質問に答えていただける | |
| ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 22 | 11 | 6 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・今はなかなか難しいが、必要がある時は、グループLINEで対応している ・コロナ禍ではあるが、できる範囲で活動している ・今の状況では難しい。仕方ないと思っている | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会活動は、基本的には保護者主体で運営されていますが、必要に応じて、園が支援、協力を行っています。 ・コロナ禍におけるつながり方の検討も必要と考えています ・就労されている方も年々増えています。親同士のつながりが子育ての力になることもあるかと思っています。園としても、引き続き必要に応じて支援を行っていきます |
| ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 41 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・対応されている ・週に1回のおたよりは細かく描いて下さり、子どもの様子をしっかりと見てもらい安心して | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の不安や悩みには、できるだけ迅速に対応し、日々の子育てがしやすいように努めています。なお、保護者の方には、行事等に関わらず、気軽に園に出向いていただき、ご相談いただければと思います。 |
| ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 41 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・配慮されている ・週に1回のおたよりをしっかりと書いてもらい助かっている | <ul style="list-style-type: none"> ・ブログは、児童発達支援管理責任者が不定期に発信しています。 |
| ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 41 | 1 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・発信されている ・ブログでどんな活動をしているのか発信されており、活動の様子わかる。 | <ul style="list-style-type: none"> 日々の園の取り組みと園児の様子をお知らせするとともに、職員の意図や関わりの中に、家庭での支援の手がかりにつながるものがあればと思っています。 |
| ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 42 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・十分注意されているので安心している | <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについては、入園時に同意を得ています。 |

| | | | | | | | | |
|---------|---|--|----|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | 引き続き、取り扱いには十分注意を払っていきます。 |
| 非常時等の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 33 | 4 | 0 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・対応されていると思う ・コロナの感染防止対策はされていると思う ・定期的に避難訓練をしているので大丈夫と思う ・マニュアルを知らない ・決定が遅い時がある | <ul style="list-style-type: none"> ・防災対策としては、定期的な避難訓練の実施と建物の安全管理（火災報知機の点検、消火器の設置）に努めています。 ・緊急時の対応に関する各マニュアルは作成していますが、開示はできていません。改善に努めます。 ・地震や津波の時の対応については、地域の消防署に相談し、ご指導いただいています。 ・感染症の予防については、日常的に施設内の設備や備品の衛生管理に努めるとともに、園時への衛生指導を行っています。免疫力の低い園児もいますので、引き続き予防に努めます。 ・実際に園内でコロナウイルス感染症が発生した場合には、できるだけ迅速に保護者への報告するよう努めました。待つ側からすると遅かったかもしれません。 |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 41 | 0 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練は実施されている | |
| 満足度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 41 | 0 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しそうに通っている ・楽しいと子どもが言う ・好きな先生ができてうれしく登園している ・毎日楽しく通っている | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方が、園に対する信頼の上で、安心して利用していただけるよう、また、園児が楽しみをもって通えるよう、引き続き、療育内容の充実に努めます。 ・近年、就労される方が増えており、園としては、できるだけご負担のないようと考えています。 一方で、子どもさんの発達保障のための取組みの一つとして、保護者の方との発達理解の共有も大切にしていきたいと考えます。ご意見もうかがいながら、進めてまいります。 |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 41 | 0 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・とても満足している。のびのびと遊んでいるようでよかった ・一年間ですごく成長した姿が見られる。そんなことできるの？と驚きの連続で、とても感謝している ・登園への拒否がなくなり、大好きな先生や友だちがいて安心できる場所になっていると思う ・コロナ禍で活動しにくい中、工夫して頑張って下さっている ・仕事しながらだと行事が多すぎる。コロナ禍でも行事が多い | |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和4年3月14日

事業所名 児童発達支援センターひかり園

職員数：25名 配布数：17名 回収数：15名 割合：88%

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 13 | 2 | コロナ禍で密を避けるため、あそびのブースを増やす | ・法令を遵守したスペースを確保しています。 |
| | ② 職員の配置数は適切であるか | 15 | | 利用定員に対して、基準以上の配置をしている。 | ・法令で必要とされる配置数に加え、臨時職員を2名、パート職員3名配置しています。専門性を高めるため研修会、部会等の派遣や関係機関との連携など業務量の増加に伴い、正規職員を増やす予定です。 |
| | ③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 8 | 5 | 玄関に段差があり、バリアフリー化は難しい状態である。子どもの導線はわかりやすい空間になるよう、視覚的な手がかりも用いて環境設定を工夫している、 | ・園庭が2ヶ所あり、建物の構造上死角になる所もあるため、表園庭は乗り物遊び、裏園庭は砂遊びや総合遊具を使用して遊ぶなど安全面の配慮をしながら環境設定をしています。職員の体制が整った後、園庭2ヶ所開放します。子どもたちにとって安全で過ごしやすい環境になることに努めています。 |
| | ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 13 | 2 | 子どもが手に触れる物等は、消毒を徹底している。遊戯室は使用目的に応じパーテーションで区切り、子どもの特性に応じた支援ができるようにしている | |
| 業務改善 | ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 12 | 1 | ・少人数で会議を行なう日を設けている。話しやすい雰囲気です。活発な意見交換ができています。 | ・指導者会議・ケース会議・学習会等で支援内容の振り返りや見直し検討を行なっています。 |
| | ⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 14 | | ・コロナ禍で保護者同士のコミュニケーションが少ないとの声があり、少人数でお話を設けた。文献資料を配布し、子育てのヒントとなるよう工夫している。 | ・評価表を用いて保護者への意向の把握を行ない改善に繋げていきます。 |
| | ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 13 | 1 | | ・自己評価結果を園のHPにて公開しています。 ・保護者及び事業所内の2者評価をとっています。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが、必要に応じて実施を検討してまいります。 |
| | ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 11 | 1 | 外部評価ではありませんが、外部から講師を招いて子どもの支援のあり方や療育について見直す機会 | |

| | | | | | | |
|----------|---|---|----|---|---|---|
| | | | | | をつくっている。 | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 14 | 1 | ・研修報告を行ない、職員間で研修内容を共有している。 ・Web研修などで職員が自主選択し学びやすい機会をつくった。 | ・職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めます。今年度は、主にオンライン研修に参加しました。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 14 | | ・日頃から気軽に相談できる関係を築きながら、生活全般を通して子ども理解を深めている。ケース担当者だけでなく、職員間で情報共有し検討会議を設けている。懇談等でアセスメントを行ない、保護者の思いを聴取し計画に反映。 | ・前期・後期とアセスメントやモニタリングを行ない、児童発達支援計画を作成しています。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 12 | | 【療育アセスメント】で子どもの状態像や変化を把握できるようにしている（前期・後期に作成） | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 13 | | | ・障害児支援利用計画やアセスメントした情報をもとに課題整理を行ない、【身辺自立】【からだ・運動（粗大・微細）】【言葉・対人関係】【遊び】の項目に沿い具体的な短期目標や支援内容を検討後、作成しています。家庭支援についても具体的な内容を明記しています |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 14 | | 計画に沿いながら、月案で活動内容を具体化している | ・活動内容については、年間療育目標、前期・後期の支援目標に沿い、リーダー会議、クラス会議、年長会議とそれぞれクラスの枠を超え全職員で意見を出し合い、活動プログラムを立てています。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 14 | 1 | クラス会議・リーダー会議で検討している | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 13 | | 子どもたちの姿から活動内容を検討し、柔軟に対応している。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか | 13 | | 状況に応じて個別対応が必要なときは支援している。活動内容に応じて多様な集団編成を行なう。 | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 12 | 1 | 朝礼時に職員体制を把握し、活動内容をクラス別に確認。日課の流れに沿い、職員の動きや役割を決めている | ・朝礼で、活動内容や職員体制について確認、終礼で振り返り（ひやりはっ等）し、職員間で情報共有を行なっています。また、会議（ケース・指導者会議等）で、 |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 10 | 3 | 振り返りを毎回行うことは難しいが、関わりの困難さや気づきなどがあればクラス内でタイムリーに確認し話し合う。全職員、共通認識すべき事項は、必ず会議以外にも終礼時に報告をする。 | ・クラス運営や子どもの評価、支援の在り方等について検し、充実した支援に繋がるよう努めています。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげて | 13 | | 活動内容や個々の子どもの姿を療育日誌に記録している。日誌やケ | ・療育日誌で記録したものをもとにクラスだよりや年長だより等を |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|----|---|---|--|
| | | いるか | | | 一ス記録をもとに学期ごとに【療育のまとめ】として支援の検証を行っている。次学期の支援内容に繋げている。 | 作成し、定期的に発行しています。保護者の方に支援のねらいや療育内容の今後の展開等についてお伝えし理解を得ています。 |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 13 | 1 | 支援の見直しとして「あゆみ」(前期・後期)を作成し、保護者と子どもの成長や課題を共有し支援計画に繋げている | ・前期・後期のモニタリングのひもととして、「あゆみ」をもとに保護者との個別懇談実施し、子ども理解の共有しています。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 14 | | | ・相談支援専門員が、ケア会議等で課題を含め、情報共有している。 |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか | 14 | | | ・こども発達支援センターや障がい福祉課、ネウボラ課等と必要に応じて情報共有や相談、報告を行ない適切な支援を行なえるよう努めています。 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 11 | | | |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 10 | 1 | | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 13 | | 移行後も、集団適応の難しさや生活の困り感が出た場合は、ケア会議を行ない、対応について検討する。 | ・移行がスムーズに行なわれ、充実した生活が出来るように子どもの特性や状態像について丁寧に伝え連携を行なっています。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 15 | | 子どもの特性や課題など支援について伝えている。引継ぎという形で行うことが多い | す。入園する児童についても、児童発達支援事業所等から引き継ぎを行ない、適切な支援に繋がります。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 11 | 3 | コロナ禍で研修機会は少ないが、関係機関や施設との情報共有する会議等には参加している | |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 6 | 7 | 年に1度、隣接している小学校の1年生と年長児と交流している(他の保育所との交流の機会にもなっている。)) | ・小学校の交流行事に参加することで、子ども自身入学に向けて期待や見通しがもて継続して取り組みます |
| | ㉙ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 3 | 4 | 福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会や療育支援事業に参加している | |

| | | | | | | |
|------------|-----|---|-------------------|---|--|---|
| | ③⑩ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 14 | | おたより等で随時、子どもの状況を伝えている。懇談や支援計画で課題や支援について伝え共通理解ができるようにしている | |
| | ③⑪ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか | 10 | 3 | | ・家族支援プログラムについては職員の研修は継続していきますが保護者に向けた学習会など計画しています。 |
| 保護者への説明責任等 | ③⑫ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 13 | | | 入園説明会で重要事項説明として伝えています。 |
| | ③⑬ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 14 | | | ・全保護者に向けて、療育ガイドランスの中で、療育のねらいや内容について説明をしています。また、家庭訪問や懇談を設けて個別に説明をしています。 |
| | ③⑭ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 14 | | 連絡帳でのやりとりや懇談などを通して適宜対応している。随時電話や個別懇談などで対応している。 | ・保護者同士が交流できる場として静養室を開放し、保護者会活動に利用されています。保護者会活動は保護者主体ではありませんが、 |
| | ③⑮ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 12 | 1 | コロナ禍で保護者会活動が縮小せざるを得なかった。 | 協力や支援はしています。 |
| | ③⑯ | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 13 | | 相談事など返答に困ったときは他の職員に確認し、迅速に対応できるように努めている | ・気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、子どもの育ちへの願いや子育ての不安や悩みを受け止められるようにタイムリーに話し合いができるように努めています |
| | ③⑰ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 14 | | 園だより、クラスだより、週に1回のおたよりなどで、随時子どもの様子や園のことを伝えている。 | ・療育活動や行事のねらいをたよりで知らせ、保護者の方が見通しをもてるように工夫しています |
| | ③⑱ | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 14 | 1 | 注意している。特定しやすい情報は伏せている | ・取り扱いについては、同意を得てから関係機関と連携しています。また、入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ています。 |
| | ③⑲ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 14 | | ことばのみで伝えるのではなく視覚的な手がかりやマカトンサインなどを使っている。 | |
| | ③⑳ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 10 | 4 | 招待ではないが、民生委員の方にボランティアとしてご協力いただいている | |
| | 常 非 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニユア | | | |

| | | | | | |
|---|---|----|---|---|---|
| | ル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 14 | | | 期的に実施し、「通報・避難・消火訓練」を消防士の指導のもと年に1回実施しています。(今年度は実 |
| ⑫ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 15 | | 火災を想定しての避難訓練を定期的に実施している。 | 地指導は受けていませんが、書面で報告、指導を得ています。 |
| ⑬ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 15 | | その子自身に対する対応マニュアルをつくり、職員に周知している。 | ・新年度に調査票による園児の健康状態の把握をし、職員間で共有しています。 |
| ⑭ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 15 | | | また、食物アレルギーに関しては・医師の指示書のもと除去食など対応しています。 |
| ⑮ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 14 | | | ・日々終礼時に「ひやりはっと」の確認をしています。具体的な対応策を検討し、事故防止意識を高めています。また安全点検日を定め、危険個所の改善に努めています |
| ⑯ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 13 | 1 | 身体拘束および不適切な行為などの事例をあげ、グループワークの中で、職員それぞれの意見を述べ合う機会をつくっている。 | ・年度はじめに「倫理要綱」の読み合わせなど職員としての心得などを確認し、支援姿勢について自ら考える機会にしています。 ・虐待防止啓発のための研修会に参加し、全職員学習の機会として研修報告を行なっています。 |
| ⑰ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 14 | | 室内の鍵については、安全面と指導に必要な場合にかけることを保護者に伝えて同意を得ている。 | ・身体拘束について切迫性、非代替性、一時性であることを全職員周知し、やむを得ない状況であるかどうか、検証しています。(来年度、計画に記載します。) |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。